

第 2 回 JSSM セキュリティ公開討論会(2008 年 2 月 24 日)アンケート結果

1. 集計結果

Q1)あなたご自身について。

・「日本セキュリティマネジメント学会(JSSM)の会員ですか？」

会員:16名 非会員:19名

・「この会を何で知りましたか？」

JSSM からの案内メール:17名 JSSM ホームページ:4名

所属団体からのお知らせ:9名 (JASA5名、品質管理学会1名、JNSA1名、JISA1名、NEC1名)

知人からの誘い:7名

・「性別」

男性:39名 女性:1名

・「年齢」

平均 50.5 歳

Q2)内容について。あなたにとって各プログラムほどの程度役立ちましたか？ 評価欄に下記の5から1でお答えください。コメント欄には、感想や意見、要望などご記入ください。

(5.大変役に立つ、4.役立つ、3.普通、2.あまり役立たない、1.まったく役立たない)

○第Ⅰ部 公開研究会 総合評価 平均 4.06

・環境マネジメント研究会 「予防原則と環境リスク」

・先端技術・情報犯罪研究会 「先端電子商取引とセキュリティ」

・セキュリティ法制度研究会「情報セキュリティの実効性あるガバナンスは可能か？」7

○第Ⅱ部 公開討論会 総合評価 平均 4.38

・基調講演1 「官の現状認識と産学への期待(仮)」 山口 英

・基調講演2 「リスク低減の社会的枠組み(仮)」 平松雄一

・基調講演3 「社会の発展とリスクテイク(仮)」 須藤 修

・パネル 「情報社会はリスクといかに向き合うべきか」 平均 4.38

○全体総合評価 平均 4.36

全体に大変役立つとの回答を多くの方々からいただきました。

公開討論会として、目的を達成できたと考えます。ありがとうございました。

2. 自由回答

○公開討論会への参加動機

- ・情報収集 4名
- ・情報セキュリティ分野の動向把握 3名
- ・研究のための情報収集 2名
- ・知識修得
- ・自己研鑽
- ・情報セキュリティを技術以外の面から勉強したかった
- ・委員会
- ・知人紹介
- ・テーマに興味あり
- ・継続的学習のため

○第 I 部 公開研究会

○環境マネジメント研究会「予防原則と環境リスク」(カッコ内は評価点)

- ・非常に有益な内容でした。(5)
- ・世界と日本の最近の動向がわかり、事例が豊富であった。説明画面の切換速度が適切でよかった。配布資料があればさらに良かった。(5)
- ・大変役に立ちます。日本の経験を世界に貢献材料になると良いですね。(5)
- ・興味深いお話でしたが、自分が関心を持っている情報セキュリティとの関連がよくわかりませんでした。(2)
- ・未然防止という言葉は参考になりました。(3)
- ・少し私には専門的すぎたようです。(3)
- ・Precaution Principle の他分野へも展開を図ると良い。(4)
- ・環境リスクの考え方(10のマイナス5乗の意味等)が参考になりました。(5)
- ・リスク評価全般についてとらえ方がわかりました。(4)
- ・勉強になりました。(4)
- ・セキュリティマネジメントに環境も含まれることが認識できた。(3)
- ・どうすべきかの内容を、具体的に聞けなくて、残念に思いました。危機管理の重要性については、大変参考になりました。(3)
- ・学会での同研究会の位置付けが明確になり、狭義に環境を超えた視点での取組みが理解することができ、有効であった。(4)
- ・情報セキュリティ以外のリスクマネジメントのアプローチについて得るものがある(4)

○先端技術・情報犯罪研究会「先端電子商取引とセキュリティ」

- ・現状の電子商取引の状況について学習することになりました。(4)

- ・世界と日本の最先端の情報が分かってよかった。資料が配布されて有難かった。説明画面の切換速度が適切だった。(5)
- ・私は、電気メーカーの国内販売部門のシステムを10年以上やりましたが EDI も社会インフラになりつつあるのを実感しました。(5)
- ・最後の課題にあげられた、データの正確性(信頼できるかどうか)についてのご意見を伺いたかったと思います。(3)
- ・ebXML の話が興味深かったです。(4)
- ・全体の ebXML までの流れを理解することができました。(4)
- ・判り易い説明があった。(5)
- ・似た様な図が多いが、EDI を良く知らない人間には判り難かったので、図を少なくしても、説明を詳しくして頂きたかった。(リスク、セキュリティの視点で特に)(4)
- ・セキュリティについて殆んど説明していない。(4)
- ・EDI の現状に就いて理解できました(5)
- ・EC を体系的に理解することができました。(4)
- ・XML を商取引に活用する事例として概要がわかりました。(4)
- ・勉強になりました(4)
- ・EC の先端情報がコンパクトに纏められており役立った。(4)
- ・産業界、特に BtoB における現状の課題が把あくできてよかったと思いますが、官への期待の詳細をもっと聞きたいと思いました。(3)
- ・今後進展する分野としての有効性を担保するための取組を提示するべき学会としての位置付は高いものとなると理解することができた。(4)
- ・電子商取引におけるセキュリティについて最新の情報を得ることができた。(4)

○セキュリティ法制度研究会「情報セキュリティの実効性あるガバナンスは可能か？」

- ・ISMS の異なった角度からの提言がおもしろかった。非常にためになりました。(4)
- ・新たな視点に気づかされました。(4)
- ・従来の方と違う切り口が多く、興味深く聞きました。難しい内容を分かりやすく説明をされていました。PAIRS-MORALE の考え方は有益でした。(5)
- ・先生の明言はとてもしっかりしますね！メーカーに永くいたものとしては、政府や認証基準よりブランドを守るためにコミットメント出来るよう努力することが多いと思います。(5)
- ・非常におもしろいお話でした。特に、コミットメント責任ということばをはじめて知りましたが、今の責任の取り方をよく表現していると考えます。(5)
- ・法的根拠をもたないという話が目新しく感じました。(3)
- ・業務上は「4」、知的興味では「5」です。いつもながら明解な語り口で感銘を受けました。(4)
- ・CIA にかわるフレームワークはぜひ現場に導入されるべきと存じます。(5)
- ・大変役に立ちました。特に個人情報の「保護」と「利用」のバランスにつきまはは実感です(5)

- ・林先生の考え方が明快に伝わった。(5)
- ・いつも通り大変示唆的な内容でした。(5)
- ・種々の視点が提示され、問題点を知った。(5)
- ・研究会への自ずからの問題提起。(3)
- ・コミットメント責任に注目し、CIAの限界を指摘されたことに、非常に感銘を受けました(5)
- ・議論の観点・問題提起が素晴らしかったです。(5)
- ・ガバナンス、コミットメントなどに対する根本的な考え方について考えさせられた。(5)
- ・林先生の御提案に賛成(同感)です。小生は法律家でないので研究会は参加できませんが。(5)
- ・情報セキュリティに於ける新しい視点を伺えた。(4)
- ・客観的に、公平に、独立的に、情報セキュリティのあり方を評価されていて、共感を覚えました。(5)
- ・現在、自らが最も注視している課題に対する取組みに対する主さの方針を伺えて、以上に有益であった。研究会には是非参加したい。(5)
- ・ISMSと法的な関連について得るものがあった。(5)

○第Ⅱ部 公開討論会

○基調講演1「官の現状認識と産学への期待(仮)」山口 英

- ・現状の課題が、わかりやすく聞くことができた。(4)
- ・官の現状に対する課題提起について、解決してゆかなければならない。(4)
- ・内容は興味深く、理解も何とかできましたが、ややスピードが速かった。(4)
- ・大変おもしろかったです。(4)
- ・いつも楽しく含蓄のあるお話をありがとうございます。BPRを実践(企画)できる人材の不足はそのとおり感じています。(4)
- ・政府の現状がよくわかる内容でした。(5)
- ・現在でも感じて降りますが、公(的)機関とのつきあいには、いろいろな仕掛けが必要だと存じます。(5)
- ・全体的なトレンドを再認識できました。(5)
- ・状況把握できた。(4)
- ・1. 官でも民でもそうであるが、ベストプラクティスを実施している(と思われる)官庁を大いに紹介しPRすれば、他省庁も追随するのではないか。2. 今回の総務省のフィルタリング策は評価します。何かショックを与えないと真剣な認識は始まらない。(4)
- ・時間不足・・・もっと時間を配分して説明してもらいたい。(3)
- ・官のリアルな問題に熱意を持って継続的にとり組まれていることに感銘を受けました。(5)
- ・論旨がやや判りにくかった。(3)
- ・話としては、面白かったけれど、発散していて、結局、何を一番言いたかったのか？国民の立場から、不安になりました。(3)

- ・官としての視点を総括して、いつ伺っても興味深いものとして参考となった。(4)
- ・官の現状理解に有益だった。(4)

○基調講演2 「リスク低減の社会的枠組み(仮)」 平松雄一

- ・「モノ」を中心とした、セキュリティの現状が理解できた。(4)
- ・非常に論理的で明確化された説明であった。(5)
- ・高度の内容が分かりやすくまとめられていた。(4)
- ・大変参考になりました。経験の重さを感じました。(5)
- ・第三者評価の重要性は理解できます。ただ、15408 を取るには金がかかる。ソフトウェアの場合、投資できる勝ち組・負け組の格差が拡大するのではないのでしょうか？(3)
- ・経験に裏打ちされた参考になる内容でした。(5)
- ・状況把握(判り易い)(5)
- ・専門家が集まる会としては、入門、一般的な話が多すぎたのではないか。「電子商取引安全技術研究組合」内の活動からの話を聞いたかった。(2)
- ・やや保守的な内容(3)
- ・IT 革命でなく、コミュニケーション革命という視点がすばらしいと思いました。(5)
- ・リスク低減に於ける人の役割についてよく認識・理解できた。(5)
- ・リスクに対する“利用者”としての狭義・広義の認識を新たにいただいた。
- ・消費者と生活者の視点の違いを認識できた。(4)

○基調講演3 「社会の発展とリスクテイク(仮)」 須藤 修

- ・日本の IT の実力、検討状況が理解できた。(4)
- ・非常に幅広い IT 社会の将来に関する提言であった。(4)
- ・新しい知識が分りやすくまとめられていた。(4)
- ・日本社会の課題を見た気がします。(5)
- ・新しい IT 基盤のキーワードをいろいろ紹介していただき、勉強になりました。(4)
- ・イノベーションの話がおもしろく参考になりました。(5)
- ・日本政府の対応の遅れと、医療分野の将来性を認識できました。(5)
- ・状況把握(判り易い)(5)
- ・個人情報中心の話であったが、どんな考え方に立つべきかいくつかの考え方を提示されれば良かったと思う。(4)
- ・情報爆発、センサーNW:もっと警鐘を鳴らした方が良い。(4)
- ・可視化、測定、モデリング、知識化 DB といったツール(基盤)を整備することが必要と感じました。(5)
- ・よく理解できた。プレゼンが上手である。(5)
- ・有用、有益な情報としてのセンシティブな情報の取扱いには共感を覚えるものでありました。(4)

- ・日本と他国の取組みの違いについて認識できた。(4)

○パネル 「情報社会はリスクといかに向き合うべきか」

- ・「IT 技官」の Question に対する山口さんの意見は、スバラシイ。(5)
- ・IT 技官とリボルビングの議論、携帯の利用制限の是非、金融市場の分析、IT リスク学、興味深い議論が多く、勉強になりました。司会進行の手際がよかったです。
- ・大変おもしろかったです。(5)
- ・日本の社会をよくするためのいろいろな意見が伺えて有意義でした(官の問題、金融サービスの問題、・・・)(5)
- ・不確実性について等未だ問題が大きいことが多くあると思いました。(4)
- ・最後の2ちゃんねらー(デジタル君?)については、ほんとう、ある意味こわいと思います。(評価点記載なし)
- ・司会の大井さんが良かった。(4)
- ・非常にフランクな意見交換(5)
- ・もう少しテーマを絞った方が良かった(3)
- ・色々な話が出て良かった。(4)
- ・多方面の意見が聞けて参考になりました。(5)
- ・統一テーマからの脱線と発散した討論になった(2)
- ・書ききれないほど、非常に示唆に富んだ内容でした(5)
- ・基調講演を深めた内容が深められ有益。(5)
- ・リスクに対する多様な話が聞けた。今後の活動に活かしていきたい。(4)

○総合コメント

- ・非常に参考になりました。(4)
- ・運営がうまくできていた。(スクリーンの子が見やすい。後の席でも講師の声がよく聞きとれる。
(5)
- ・情報セキュリティに関するソフトウェアを供給する業務を行っていますが、情報セキュリティに関連する様々な枠組みや、動き、自分の業務のポジショニング等が明確になり、大変勉強になりました。
(4)
- ・大変有意義な公開講座だった気がします。またよろしく願います。(5)
- ・一流の先生方の話を聞くことができ良かった。(4)
- ・情報セキュリティにとどまらず色々な意見が伺えて有意義でした。自ら発表するのは難しいと思いますが、次のこのような機会にはぜひ参加させていただきたいと思います。(4)
- ・今回、初めて参加させて頂きました。大変勉強になりました。一般の人が参加できる、イベントを増やして頂けると、助かります。(現在、セキュリティの業務を担当しています。自分のモチベーションアップの為、参加しました。)(4)

- ・大変おもしろい話が聞けて良かったです。(4)
- ・リスクに対する多様な考え方に触れ、今後の参考にさせて頂きたいと思います。(4)
- ・ICTリスク学を支持いたします。(5)
- ・次回があればぜひ又参加したいと思います。(5)
- ・御案内頂き有難うございました。(5)
- ・有意義な討論会であった。(5)
- ・非常に良かったと思う。(4)
- ・このような会を定期的で開催していただきたい。(評価点記載なし)
- ・良い勉強の機会を頂きました。(評価点記載なし)
- ・対象と自己責任を含めて、今後の学会の展望を共有できたことが有益。(5)
- ・今後の業務に有効に活用したい。(4)

皆様から頂きました貴重なご意見を、今後の開催の参考とさせていただきます。
ありがとうございました。

以上